2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校					学科名：2年制公務員科
授業科目	政治・社会（憲法）	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	村松武 佐竹考太　他
授業回数	30	単　　位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 政治（憲法上の人権、統治機構を含む）・社会学・社会政策・国際関係等の基本を理解する。 【概要】 政治（憲法上の人権、統治機構）・社会学・社会政策等の基本を理解する。現実社会での問題を理解、分析し、視野の広い社会人となることを狙いとする。				
到達目標	政治についての基本知識、政治体制、日本国憲法の特徴（基本的人権、統治機構）を正しく理解する。社会学の基本を理解する。社会に出るに当たり、正確な知識を身につけ、適切な判断ができること。				

授業内容	回	回
	01：政治・政治の基本概念 02：政治・政治制度論 03：政治・政治過程論 04：政治・日本国憲法の特色 05：政治・基本的人権総論 06：政治・包括的基本権・平等権 07：政治・精神的自由権① 08：政治・精神的自由権② 09：政治・経済的自由権 10：政治・人身の自由 11：政治・社会権 12：政治・能動的権利と受益権 13：政治・憲法改正の手続き 14：政治・国会① 15：政治・国会②	16：政治・国会③ 17：政治・内閣① 18：政治・内閣② 19：政治・裁判所 20：政治・地方自治 21：社会・社会理論 22：社会・労働問題① 23：社会・労働問題② 24：社会・社会保障① 25：社会・社会保障② 26：社会・社会保障③ 27：社会・環境問題 28：社会・国際関係① 29：社会・国際関係② 30：社会：国際関係③

テキスト 参考文献	テキスト政治・テキスト社会（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	経済・社会科学演習	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	村松武 佐竹考太　他
授業回数	30	単　　位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 経済の基本について理解する。また社会学・社会政策・国際関係等の基本を理解する。社会科学分野における政治・経済・現代社会の出題傾向を理解する。 【概要】 政治（憲法上の人権、統治機構）・経済の基本について学習する。また社会学・社会政策等の基本を理解する。 現実社会での問題を理解、分析し、視野の広い社会人となることを狙いとする。 演習問題を解き、その後、解説を踏まえて得点力を高める。				

到達目標	政治・経済についての基本知識、政治体制、日本国憲法の特徴（基本的人権、統治機構）を正しく理解する。社会学の基本を理解する。社会に出るに当たり、正確な知識を身につけ、適切な判断ができること。	
授業内容	回 1：経済・経済社会の変容と経済体制① 2：経済・経済社会の変容と経済体制② 3：経済・現代の企業① 4：経済・現代の企業② 5：経済・現代の市場① 6：経済・現代の市場② 7：経済・国民所得① 8：経済・国民所得② 9：経済・経済成長と景気循環① 10：経済・経済成長と景気循環② 11：経済・通貨制度と金融政策① 12：経済・通貨制度と金融政策② 13：経済・財政制度と財政政策① 14：経済・財政制度と財政政策② 15：経済・貿易と外国為替①	回 16：経済・貿易と外国為替② 17：経済・日本経済の動向① 18：経済・日本経済の動向② 19：経済・国際経済の動向① 20：経済・国際経済の動向② 21：社会科学演習・政治まとめ① 22：社会科学演習・政治まとめ② 23：社会科学演習・政治まとめ③ 24：社会科学演習・政治まとめ④ 25：社会科学演習・社会まとめ① 26：社会科学演習・社会まとめ② 27：社会科学演習・社会まとめ③ 28：社会科学演習・経済まとめ① 29：社会科学演習・経済まとめ② 30：社会科学演習・経済まとめ③
テキスト 参考文献	テキスト政治・テキスト社会・テキスト経済（大原出版株式会社）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。	

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	世界史A	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	長谷川正彦 佐竹考太　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ①西洋史全般の理解をすることを目的とする。②人物・出来事を正確に理解するとともに時系列を把握し、各時代の出来事について類似点、相違点を把握する。 【概要】 ①西洋史上の人物・出来事につき、テキストを通して理解し、把握していく。 ②定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。③タブレット端末を用いて史料にあたり、知識の効果的な定着をめざしていく。				

到達目標	西洋史上の人物・出来事を、正確に時系列で理解する。各時代の人物・出来事につき、類似点と相違点を正しく把握する。各時代についての記述を分析し、内容の正誤を判断することができる。	
授業内容	回 01：古代文明 02：古代① 03：古代② 04：古代③ 05：中世① 06：中世② 07：中世③ 08：中世④ 09：近代ヨーロッパ① 10：近代ヨーロッパ② 11：16～18世紀のヨーロッパ① 12：16～18世紀のヨーロッパ② 13：16～18世紀のヨーロッパ③ 14：市民社会の成長① 15：市民社会の成長②	回
テキスト 参考文献	テキスト世界史（大原出版株式会社）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。	

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	世界史B	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	長谷川正彦 佐竹考太　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ①西洋史・中国史全般の理解をすることを目的とする。②人物・出来事を正確に理解するとともに時系列を把握し、各時代の出来事について類似点、相違点を把握する。 【概要】 ①西洋史・中国史上の人物・出来事につき、テキストを通して理解し、把握していく。 ②定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。③タブレット端末を用いて史料にあたり、知識の効果的な定着をめざしていく。				

到達目標	西洋史・中国史上の人物・出来事を、正確に時系列で理解する。各時代の人物・出来事につき、類似点と相違点を正しく把握する。各時代についての記述を分析し、内容の正誤を判断することができる。	
授業内容	回 01：市民社会の成長③ 02：19世紀の欧米① 03：19世紀の欧米② 04：19世紀の欧米③ 05：現代世界① 06：現代世界② 07：現代世界③ 08：ヴェルサイユ体制① 09：ヴェルサイユ体制② 10：世界恐慌・ファシズムの台頭・第二次世界大戦① 11：世界恐慌・ファシズムの台頭・第二次世界対戦② 12：中国史① 13：中国史② 14：中国史③	回
テキスト 参考文献	テキスト世界史（大原出版株式会社）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。	

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	日本史	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	村松武 松村明彦　他
授業回数	30	単　　位	4	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 日本史全般の理解をすることを目的とする。人物・出来事を正確に理解するとともに時系列を把握し、各時代の出来事について類似点、相違点を把握する。 【概要】 日本史上の人物・出来事につき、テキストを通して理解し、把握していく。定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。タブレット端末を用いて史料にあたり、知識の効果的な定着をめざしていく。				

到達目標	日本史上の人物・出来事を、正確に時系列で理解する。各時代の人物・出来事につき、類似点と相違点を正しく把握する。各時代についての記述を分析し、内容の正誤を判断することができる。
授業内容	回 01：原始 02：古代① 03：古代② 04：古代③ 05：古代④ 06：古代⑤ 07：古代まとめ 08：中世① 09：中世② 10：中世③ 11：中世④ 12：中世⑤ 13：中世⑥ 14：中世まとめ 15：近世① 回 16：近世② 17：近世③ 18：近世④ 19：近世⑤ 20：近世⑥ 21：近世まとめ 22：近代① 23：近代② 24：近代③ 25：近代④ 26：近代⑤ 27：近代⑥ 28：近代⑦ 29：現代 30：近代・現代まとめ
テキスト 参考文献	テキスト日本史（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校					学科名：2年制公務員科
授業科目	地理	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	佐竹考太 増谷麻由　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 地理全般の理解をすることを目的とする。世界の地形や、世界各国における産業及び生活について類似点、相違点を把握する。日本における地形、農業、漁業、生活について把握する。 【概要】 世界の地理についてテキストを通して理解し、把握していく。定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。タブレット端末を用いて史料にあたり、知識の効果的な定着をめざしていく。				
到達目標	世界に広がる地形、気候区分や植生を正しく把握する。世界各国の農業や工業、漁業について相違点を理解し、正しく把握する。地理についての記述を分析し、内容の正誤を判断することができる。				

授業内容	回	回
	01：自然環境と地図① 02：自然環境と地図② 03：自然環境と地図③ 04：資源と産業① 05：資源と産業② 06：資源と産業③ 07：生活と地域① 08：生活と地域② 09：生活と地域③ 10：日本の地理① 11：日本の地理② 12：日本の地理③ 13：世界の国々① 14：世界の国々② 15：世界の国々③	16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：

テキスト 参考文献	テキスト地理（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	国語・文章理解A	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡田圭介 増谷麻由　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 文法や漢字・語句、文学史について理解すること、また文章を読んで内容把握する、文章構造を正確に理解することを目的とする。 【概要】 文法や文学史について理解する。漢字を正確に読み、書くとともに、語句の読み方や意味を正確に把握する。 テキストを用いて文章を読み解くための手法を理解し、実践する。定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。				

到達目標	国語：①文法や文学史の理解②漢字の正確な読み書き③語句の正確な理解、文章理解：①内容把握を正確にできること。	
授業内容	回 01：文法① 02：文法② 03：文法③ 04：確認テスト① 05：漢字・語句① 06：漢字・語句② 07：確認テスト② 08：文学史① 09：文学史② 10：確認テスト③ 11：文章理解概要 12：内容把握① 13：内容把握② 14：内容把握③ 15：内容把握④	回
テキスト 参考文献	テキスト国語（大原出版株式会社）、テキスト文章理解（同）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。	

2026年度 Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	国語・文章理解B	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	岡田圭介 増谷麻由・他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 文章を読んで内容把握する、意味の通るように並べ替える、不足している部分に補充するテクニックを身に付けることを目的とする。 【概要】 テキストを用いて文章を読み解くための手法を理解し、実践する。定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。				
到達目標	文章理解：①内容把握②文章整序③空欄補充を素早く正確に出来ること。				
授業内容	回 01：内容把握総合 02：文章整序① 03：文章整序② 04：文章整序③ 05：文章整序④ 06：文章整序⑤ 07：空欄補充① 08：空欄補充② 09：空欄補充③ 10：空欄補充④ 11：空欄補充⑤ 12：総まとめ① 13：総まとめ② 14：総まとめ③ 15：確認テスト④	回			
テキスト 参考文献	テキスト文章理解（同）				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	物理・化学	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	福沢謙太郎 清水舞依美
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ①物理・化学の基礎や基本的な計算問題を、テキストを通して理解し、把握していく。②定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。③講師が現象を実演することで、知識の効果的な定着をめざす。 定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。 【概要】 物理の基本知識を学習し、自然や科学を理解する視野を広げること、また化学の基本知識を学習し、自然や科学を理解する視野を広げることを狙いとする。				

到達目標	①物理・化学の基本を理解している。②公式・化学式について理解する。③基本的な問題を解くことが出来る。	
授業内容	回 01：物理　第１章（運動） 02：物理　第１章（運動） 03：物理　第２章（力） 04：物理　確認テスト 05：物理　第６章（熱） 06：物理　第７章（波動） 07：物理　第８章（電気） 08：物理　確認テスト 09：化学　第１章（物質の構造） 10：化学　第１章（物質の構造） 11：化学　確認テスト 12：化学　第２章（物質の状態） 13：化学　第２章（物質の状態） 14：化学　第３章（物質の変化） 15：化学　確認テスト	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：
テキスト 参考文献	テキスト物理（大原出版株式会社）・テキスト化学（同）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。	

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	生物・地学	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	村松武 岡田圭介　他
授業回数	15	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ①生体の構造やしくみ、遺伝や身体の内部環境について理解する②地球、岩石、大気、宇宙について理解する③定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。④タブレット端末を用いることで、知識の効果的な定着をめざす。 【概要】 生物・地学の基本知識を学習し、自然科学分野を理解し視野を広げることを目的とする。				

到達目標	生体の構造、代謝のしくみなどについて理解すること。また地球の構造、気象現象や惑星について分類して把握できること。生物、地学の基本事項を把握し、記述に対して内容の正誤を判断することが出来ること。

授業内容	回	回
	01：生物・生体の構造 02：生物・生体内の代謝 03：生物・確認テスト① 04：生物・生殖と発生、遺伝と変異 05：生物・確認テスト② 06：生物・刺激の受容と反応 07：生物・内部環境の恒常性と調節 08：生物・確認テスト③ 09：地学・地球の姿と動く大地① 10：地学・地球の姿と動く大地② 11：地学・岩石（火成岩とマグマ） 12：地学・大気と海洋① 13：地学・大気と海洋② 14：地学・太陽系と宇宙の構造① 15：地学・太陽系と宇宙の構造②	16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：

テキスト 参考文献	テキスト生物（大原出版株式会社）、テキスト地学（同）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校					学科名：2年制公務員科
授業科目	判断推理・空間把握A	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	福沢謙太郎 松村明彦　他
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 論理的な思考力により、情報を整理、処理できる力を養う。 【概要】 テキストを通して問題の解法と、その解法に至る発想を講義する。 定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。				
到達目標	与えられた情報を正確に理解する。 情報を整理し、論理的思考によって正しい結論を導くことができる。				
授業内容	回 01：対応① 02：対応② 03：対応③ 04：勝敗① 05：勝敗② 06：勝敗③ 07：問題演習① 08：問題演習② 09：論理① 10：論理② 11：論理③ 12：ウソの証言① 13：ウソの証言② 14：ウソの証言③ 15：問題演習①		回 16：問題演習② 17：暗号① 18：暗号② 19：暗号③ 20：推理・手順① 21：推理・手順② 22：推理・手順③ 23：問題演習③ 24：問題演習④ 25：順序① 26：順序② 27：順序③ 28：位置・方位① 29：位置・方位② 30：位置・方位③		
テキスト 参考文献	判断推理[問題編]（大原出版株式会社） 判断推理[解答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校					学科名：2年制公務員科
授業科目	判断推理・空間把握A	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	福沢謙太郎 松村明彦　他
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 論理的な思考力により、情報を整理、処理できる力を養う。 【概要】 テキストを通して問題の解法と、その解法に至る発想を講義する。 定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。				
到達目標	与えられた情報を正確に理解する。 情報を整理し、論理的思考によって正しい結論を導くことができる。				
授業内容	回 31：集合の要素の個数① 32：集合の要素の個数② 33：集合の要素の個数③ 34：問題演習 35：問題演習 36：総合演習 37：総合演習 38：総合演習 39：総合演習 40：総合演習 41：総合演習 42：総合演習 43：総合演習 44：総合演習 45：模擬試験①	回			
テキスト 参考文献	判断推理[問題編]（大原出版株式会社） 判断推理[解答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校					学科名：2年制公務員科
授業科目	判断推理・空間把握B	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	福沢謙太郎 松村明彦　他
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 論理的な思考力により、情報を整理、処理できる力を養う。 【概要】 テキストを通して問題の解法と、その解法に至る発想を講義する。 定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。				
到達目標	与えられた情報を正確に理解する。 情報を整理し、論理的思考によって正しい結論を導くことができる。				
授業内容	回 01：一筆書き・位相 02：道順・折り紙 03：問題演習 04：問題演習 05：平面構成① 06：平面構成② 07：回転の軌跡① 08：回転の軌跡② 09：回転の軌跡③ 10：問題演習 11：問題演習 12：正多面体① 13：正多面体② 14：展開図① 15：展開図②		回 16：展開図③ 17：問題演習 18：問題演習 19：サイコロ 20：積み木① 21：積み木② 22：問題演習 23：問題演習 24：見取り図・投影図① 25：見取り図・投影図② 26：立体の切断① 27：立体の切断② 28：回転体 29：問題演習 30：問題演習		
テキスト 参考文献	判断推理[問題編]（大原出版株式会社） 判断推理[解答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	判断推理・空間把握B	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	福沢謙太郎 松村明彦　他
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 論理的な思考力により、情報を整理、処理できる力を養う。 【概要】 テキストを通して問題の解法と、その解法に至る発想を講義する。 定期的に確認テストを行い、理解度・習熟度を測る。				
到達目標	与えられた情報を正確に理解する。 情報を整理し、論理的思考によって正しい結論を導くことができる。				
授業内容	回 31：総合演習 32：総合演習 33：総合演習 34：総合演習 35：総合演習 36：総合演習 37：総合演習 38：総合演習 39：総合演習 40：総合演習 41：総合演習 42：総合演習 43：総合演習 44：総合演習 45：模擬試験②	回			
テキスト 参考文献	判断推理[問題編]（大原出版株式会社） 判断推理[解答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	数的推理・図形A	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	佐竹考太 清水舞依美
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 基礎的な計算力を身に付け、設問から課題を解決する方法を導き出す力を身に付ける。 また、数学力を利用し、効率的にデータの分析を行える能力を習得する。 【概要】 例題にて計算方法、考え方を習得。その後、基本問題、応用問題と演習を繰り返すことで理解度の定着を目指す。また、定期的に確認テストを行うことで、復習と理解度、習熟度の定着度を高めていく。				

到達目標	四則演算、方程式など、基本的な問題がミスなく解ける。文章問題の出題意図を素早くつかみ、正しい解答を導き出せる。解答を導き出すまでの手段が一つでない場合、所要時間が少ない方法を選択できる。

授業内容		
	回	回
	01：ガイダンス 02：方程式・不等式① 03：方程式・不等式② 04：方程式・不等式③ 05：方程式・不等式④ 06：方程式・不等式⑤ 07：方程式・不等式⑥ 08：方程式・不等式⑦ 09：方程式・不等式⑧ 10：その他の文章題① 11：その他の文章題② 12：その他の文章題③ 13：その他の文章題④ 14：確認テスト 15：割合と比①	16：割合と比② 17：割合と比③ 18：割合と比④ 19：割合と比⑤ 20：割合と比⑥ 21：割合と比⑦ 22：割合と比⑧ 23：割合と比⑨ 24：割合と比⑩ 25：割合と比⑪ 26：割合と比⑫ 27：確認テスト 28：速さ① 29：速さ② 30：速さ③

テキスト 参考文献	数的推理[問題編]（大原出版株式会社） 数的推理[回答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	数的推理・図形A	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	佐竹考太 清水舞依美
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 基礎的な計算力を身に付け、設問から課題を解決する方法を導き出す力を身に付ける。 また、数学力を利用し、効率的にデータの分析を行える能力を習得する。 【概要】 例題にて計算方法、考え方を習得。その後、基本問題、応用問題と演習を繰り返すことで理解度の定着を目指す。また、定期的に確認テストを行うことで、復習と理解度、習熟度の定着度を高めていく。				

到達目標	四則演算、方程式など、基本的な問題がミスなく解ける。文章問題の出題意図を素早くつかみ、正しい解答を導き出せる。解答を導き出すまでの手段が一つでない場合、所要時間が少ない方法を選択できる。

授業内容	回	回
	31：速さ④ 32：速さ⑤ 33：速さ⑥ 34：速さ⑦ 35：速さ⑧ 36：速さ⑨ 37：速さ⑩ 38：速さ⑪ 39：速さ⑫ 40：速さ⑬ 41：確認テスト 42：その他の文章題⑤ 43：その他の文章題⑥ 44：その他の文章題⑦ 45：その他の文章題⑧	46： 47： 48： 49： 50： 51： 52： 53： 54： 55： 56： 57： 58： 59： 60：

テキスト 参考文献	数的推理[問題編]（大原出版株式会社） 数的推理[回答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	数的推理・図形B	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	佐竹考太 清水舞依美
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 場合の数、確率、順列・組み合わせ、平面・立体図形の計量を扱い、数量関係を体系的に整理する力を養う。さらに、論理的思考力を高め、公務員試験等に対応できる実践的な処理能力を育成する。 【概要】 数的推理Aの基礎を踏まえ、場合の数、確率、順列・組み合わせ、平面・立体図形の計量を扱う。基本的な考え方を理解したうえで、条件を整理しながら段階的に演習を行い、論理的思考力と実践的処理能力を高める。定期的な確認テストにより学習内容の定着を図る。				

到達目標	各分野の応用問題において、数量関係を整理し正確に処理できる。出題意図を的確に把握し、最適な解法を選択して迅速に解答できる。限られた時間内で合理的に判断し、安定して得点できる力を身に付ける。

授業内容	回	回
	01：場合の数①	16：整数・計算パズル⑧
	02：場合の数②	17：整数・計算パズル⑨
	03：場合の数③	18：整数・計算パズル⑩
	04：場合の数④	19：確認テスト
	05：確率①	20：平面図形の計量①
	06：確率②	21：平面図形の計量②
	07：確率③	22：平面図形の計量③
	08：確認テスト	23：平面図形の計量④
	09：整数・計算パズル①	24：平面図形の計量⑤
	10：整数・計算パズル②	25：平面図形の計量⑥
	11：整数・計算パズル③	26：平面図形の計量⑦
	12：整数・計算パズル④	27：平面図形の計量⑧
	13：整数・計算パズル⑤	28：平面図形の計量⑨
	14：整数・計算パズル⑥	29：平面図形の計量⑩
	15：整数・計算パズル⑦	30：平面図形の計量⑪

テキスト 参考文献	数的推理[問題編]（大原出版株式会社） 数的推理[回答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	数的推理・図形B	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	後期	担　当	佐竹考太 清水舞依美
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 場合の数、確率、順列・組み合わせ、平面・立体図形の計量を扱い、数量関係を体系的に整理する力を養う。さらに、論理的思考力を高め、公務員試験等に対応できる実践的な処理能力を育成する。 【概要】 数的推理Aの基礎を踏まえ、場合の数、確率、順列・組み合わせ、平面・立体図形の計量を扱う。基本的な考え方を理解したうえで、条件を整理しながら段階的に演習を行い、論理的思考力と実践的処理能力を高める。定期的な確認テストにより学習内容の定着を図る。				

到達目標	各分野の応用問題において、数量関係を整理し正確に処理できる。出題意図を的確に把握し、最適な解法を選択して迅速に解答できる。限られた時間内で合理的に判断し、安定して得点できる力を身に付ける。	
授業内容	回 31：平面図形の計量⑫ 32：確認テスト 33：平面図形の計量⑬ 34：平面図形の計量⑭ 35：平面図形の計量⑮ 36：立体図形の計量① 37：立体図形の計量② 38：立体図形の計量③ 39：立体図形の計量④ 40：立体図形の計量⑤ 41：立体図形の計量⑥ 42：資料解釈① 43：資料解釈② 44：資料解釈③ 45：確認テスト	回 46： 47： 48： 49： 50： 51： 52： 53： 54： 55： 56： 57： 58： 59： 60：
テキスト 参考文献	数的推理[問題編]（大原出版株式会社） 数的推理[回答編]（大原出版株式会社） 図形・資料解釈[問題編]（大原出版株式会社）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。	

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	基礎演習	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	福沢謙太郎 清水舞依美　他
授業回数	30	単　　位	2	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 社会人として必要となる日本語能力、数学の基礎を理解することを目的とする。 【概要】 社会人として求められる一般知能、一般知識の前提として、適切な日本語能力を習得する。同様に計算能力の基本についても学習機会を付与することで身につけていく。合わせて模擬試験を行い、習熟度を測っていく。				

到達目標	中学校・高等学校卒業程度の漢字能力、数学能力を確実に使いこなせるようにする。
授業内容	回 01：漢字検定対策　訓読み・送り仮名 02：漢字検定対策　熟語 03：漢字検定対策　異字同訓 04：漢字検定対策　同音異義 05：漢字検定対策　誤字訂正 06：漢字検定対策　類義語 07：漢字検定対策　反対語 08：漢字検定対策　漢字の意味・漢字の使い方 09：漢字検定対策　漢字検定模試① 10：漢字検定対策　漢字検定模試② 11：漢字検定対策　漢字検定模試③ 12：漢字検定対策　漢字検定模試④ 13：漢字検定対策　漢字検定模試⑤ 14：漢字検定対策　漢字検定模試⑥ 15：基礎数学　四則演算① 回 16：基礎数学　四則演算② 17：基礎数学　因数分解① 18：基礎数学　因数分解② 19：基礎数学　関数① 20：基礎数学　関数② 21：基礎数学　方程式① 22：基礎数学　方程式② 23：基礎数学　方程式③ 24：基礎数学　方程式④ 25：基礎数学　１年生用模擬試験① 26：基礎数学　１年生用模擬試験② 27：基礎数学　１年生用模擬試験③ 28：基礎数学　１年生用模擬試験④ 29：基礎数学　１年生用模擬試験⑤ 30：基礎数学　１年生用模擬試験⑥
テキスト 参考文献	日ビ漢字検定問題集2級、オリジナル問題集
成績基準	取組姿勢や模擬試験、検定の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	ビジネス実習ＩA	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡田圭介 清水舞依美
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 社会において求められる基礎行動力、職場の基礎能力を習得する。職場で求められるPC能力を身につける。企業担当者との実習によって、官公庁・企業での就労に役立つ能力の習得を目的とする。 【概要】 社会人として求められる基礎能力を実習によって習得する。ＰＣについてMicrosoft社のビジネスソフトを使いこなせるようにする。企業担当者による実習授業では、現実社会において生じている事象や問題点に目を向け、自ら対処する姿勢を身につけるとともに、具体的な解決手法を考え、提案できるようにする。				
到達目標	社会人としての基礎的な思考、振る舞いができる。社会人2年目レベルのＰＣ能力を身につける。官公庁での勤務を前提に、実社会の事象、問題点について検討分析し、解決手法を提案できる能力を身につける。				

授業内容	回	回
	01：基礎行動実習・概論 02：基礎行動実習・規律訓練① 03：基礎行動実習・規律訓練② 04：基礎行動実習・グループワーク① 05：基礎行動実習・グループワーク② 06：職場の基礎能力・自己管理力① 07：職場の基礎能力・自己管理力② 08：職場の基礎能力・協調行動力① 09：職場の基礎能力・協調行動力② 10：職場の基礎能力・IT活用力① 11：職場の基礎能力・IT活用力② 12：職場の基礎能力・IT活用力③ 13：職場の基礎能力・IT活用力④ 14：職場の基礎能力・IT活用力⑤ 15：職場の基礎能力・IT活用力⑥	16：職場の基礎能力・IT活用力⑦ 17：職場の基礎能力・海外行動力① 18：職場の基礎能力・海外行動力② 19：職場の基礎能力・海外行動力③ 20：職場の基礎能力・海外行動力④ 21：職場の基礎能力・海外行動力⑤ 22：職場の基礎能力・海外行動力⑥ 23：職場の基礎能力・海外行動力⑦ 24：職場の基礎能力・海外行動力⑧ 25：職場の基礎能力・海外行動力⑨ 26：Excel検定対策① 27：Excel検定対策② 28：Excel検定対策③ 29：Excel検定対策④ 30：Excel検定対策⑤

テキスト 参考文献	Word&Excel2021（実教出版）,Excel表計算処理技能認定試験3級問題集、Word文書処理技能認定試験3級問題集（サーティファイ） その他実習授業については、担当者の指示した教材を用いる。
成績基準	取組姿勢やレポート、検定の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	授業で行った課題と同水準のものを復習すること。操作が苦手な者、ＰＣに触れる機会が少ない者は、放課後に学校所有の機材で復習することを薦める。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	ビジネス実習ＩA	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	1	時　　期	前期	担　当	岡田圭介 清水舞依美
授業回数	45	単　　位	3	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 社会において求められる基礎行動力、職場の基礎能力を習得する。職場で求められるPC能力を身につける。企業担当者との実習によって、官公庁・企業での就労に役立つ能力の習得を目的とする。 【概要】 社会人として求められる基礎能力を実習によって習得する。ＰＣについてMicrosoft社のビジネスソフトを使いこなせるようにする。企業担当者による実習授業では、現実社会において生じている事象や問題点に目を向け、自ら対処する姿勢を身につけるとともに、具体的な解決手法を考え、提案できるようにする。				

到達目標	社会人としての基礎的な思考、振る舞いができる。社会人2年目レベルのＰＣ能力を身につける。官公庁での勤務を前提に、実社会の事象、問題点について検討分析し、解決手法を提案できる能力を身につける。	
授業内容	回 31：Excel検定対策⑥ 32：Excel検定対策⑦ 33：Excel検定対策⑧ 34：Excel検定対策⑨ 35：Excel検定対策⑩ 36：Excel検定対策⑪ 37：Excel検定対策⑫ 38：Excel検定対策⑬ 39：Excel検定対策⑭ 40：Excel検定対策⑮ 41：Excel検定対策⑯ 42：Excel検定対策⑰ 43：Excel検定対策⑱ 44：Excel検定対策⑲ 45：Excel検定対策⑳	回
テキスト 参考文献	Word&Excel2021（実教出版）,Excel表計算処理技能認定試験3級問題集、Word文書処理技能認定試験3級問題集（サーティファイ） その他実習授業については、担当者の指示した教材を用いる。	
成績基準	取組姿勢やレポート、検定の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の内　容	授業で行った課題と同水準のものを復習すること。操作が苦手な者、ＰＣに触れる機会が少ない者は、放課後に学校所有の機材で復習することを薦める。	

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	教養総合演習	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	180	単位時間数	360	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 知能科目及び知識科目全般についての模擬試験を実施する。模擬試験を通じ、得意科目や苦手科目の把握、習熟度の確認をする。模擬試験と復習を繰り返すことで、知識の定着を図る。				
到達目標	就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得をする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。				

授業内容	回	回
	01：答練1 02：答練1 03：答練2 04：答練2 05：答練3 06：答練3 07：答練4 08：答練4 09：答練5 10：答練5 11：答練6 12：答練6 13：答練7 14：答練7 15：答練8	16：答練8 17：答練9 18：答練9 19：答練10 20：答練10 21：答練11 22：答練11 23：答練12 24：答練12 25：答練13 26：答練13 27：答練14 28：答練14 29：答練15 30：答練15

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	教養総合演習	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	180	単位時間数	360	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 知能科目及び知識科目全般についての模擬試験を実施する。模擬試験を通じ、得意科目や苦手科目の把握、習熟度の確認をする。模擬試験と復習を繰り返すことで、知識の定着を図る。				
到達目標	就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得をする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。				
授業内容	回 31：答練16 32：答練16 33：答練17 34：答練17 35：答練18 36：答練18 37：答練19 38：答練19 39：答練20 40：答練20 41：答練21 42：答練21 43：答練22 44：答練22 45：答練23		回 46：答練23 47：答練24 48：答練24 49：答練25 50：答練25 51：答練26 52：答練26 53：答練27 54：答練27 55：答練28 56：答練28 57：答練29 58：答練29 59：答練30 60：答練30		
テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等				
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。				

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	教養総合演習	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	180	単位時間数	360	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 知能科目及び知識科目全般についての模擬試験を実施する。模擬試験を通じ、得意科目や苦手科目の把握、習熟度の確認をする。模擬試験と復習を繰り返すことで、知識の定着を図る。				
到達目標	就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得をする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。				

授業内容	回	回
	61：答練31 62：答練31 63：答練32 64：答練32 65：答練33 66：答練33 67：答練34 68：答練34 69：答練35 70：答練35 71：答練36 72：答練36 73：答練37 74：答練37 75：答練38	76：答練38 77：答練39 78：答練39 79：答練40 80：答練40 81：答練41 82：答練41 83：答練42 84：答練42 85：答練43 86：答練43 87：答練44 88：答練44 89：答練45 90：答練45

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	教養総合演習	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	180	単位時間数	360	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 知能科目及び知識科目全般についての模擬試験を実施する。模擬試験を通じ、得意科目や苦手科目の把握、習熟度の確認をする。模擬試験と復習を繰り返すことで、知識の定着を図る。				
到達目標	就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得をする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。				

授業内容	回	回
	91：答練46 92：答練46 93：答練47 94：答練47 95：答練48 96：答練48 97：答練49 98：答練49 99：答練50 100：答練50 101：答練51 102：答練51 103：答練52 104：答練52 105：答練53	106：答練53 107：答練54 108：答練54 109：答練55 110：答練55 111：答練56 112：答練56 113：答練57 114：答練57 115：答練58 116：答練58 117：答練59 118：答練59 119：答練60 120：答練60

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	教養総合演習	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	180	単位時間数	360	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 知能科目及び知識科目全般についての模擬試験を実施する。模擬試験を通じ、得意科目や苦手科目の把握、習熟度の確認をする。模擬試験と復習を繰り返すことで、知識の定着を図る。				
到達目標	就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得をする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。				

授業内容	回	回
	121：答練61 122：答練61 123：答練62 124：答練62 125：答練63 126：答練63 127：答練64 128：答練64 129：答練65 130：答練65 131：答練66 132：答練66 133：答練67 134：答練67 135：答練68	136：答練68 137：答練69 138：答練69 139：答練70 140：答練70 141：答練71 142：答練71 143：答練72 144：答練72 145：答練73 146：答練73 147：答練74 148：答練74 149：答練75 150：答練75

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	教養総合演習	授業形態	講義・演習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	180	単位時間数	360	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 知能科目及び知識科目全般についての模擬試験を実施する。模擬試験を通じ、得意科目や苦手科目の把握、習熟度の確認をする。模擬試験と復習を繰り返すことで、知識の定着を図る。				
到達目標	就職活動、また就職後の社会生活に求められる一般知能・一般知識の習得をする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。				

授業内容	回	回
	151：答練76 152：答練76 153：答練77 154：答練77 155：答練78 156：答練78 157：答練79 158：答練79 159：答練80 160：答練80 161：答練81 162：答練81 163：答練82 164：答練82 165：答練83	166：答練83 167：答練84 168：答練84 169：答練85 170：答練85 171：答練86 172：答練86 173：答練87 174：答練87 175：答練88 176：答練88 177：答練89 178：答練89 179：答練90 180：答練90

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	論作文	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	増谷麻由 佐竹考太　他
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 論作文の書き方を理解することを目的とする。 正しい日本語表現を身につけ、自分の考えなどを書き表す。 【概要】 文章表記や文章の構成を理解する。 定期的に論作文を書き、理解度・習熟度を測る。				
到達目標	文章表記や文章の構成を正確に理解する。志望先に関する情報収集を行うことができる。 自分の考えを書き表すことができるようになる。				

授業内容	回	回
	01：論作文の基礎① 02：論作文の基礎② 03：論作文の基礎③ 04：文章作成①・採点・解説・やり直し 05：情報収集① 06：情報収集② 07：情報収集③ 08：情報収集④ 09：情報収集⑤ 10：文章作成②・採点・解説・やり直し 11：論作文① 12：採点・解説・やり直し 13：論作文② 14：採点・解説・やり直し 15：まとめ	16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：

テキスト 参考文献	テキスト論作文（大原出版株式会社）
成績基準	取組姿勢や論作文の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	ビジネス社会で求められる文章能力を高めていくこと。文字の美しさ、文法上の正確さ、構成力、表現力、内容等の改善を図ること。日頃から、自己分析や官公庁の業務把握を行うこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	教養総合講義	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	福沢謙太郎 長谷川正彦　他
授業回数	75	単位時間数	150	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得を目指し、講義を行う。				
到達目標	就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得すること。				

授業内容	回	回
	01：答練解説講義1 02：答練解説講義2 03：答練解説講義3 04：答練解説講義4 05：答練解説講義5 06：答練解説講義6 07：答練解説講義7 08：答練解説講義8 09：答練解説講義9 10：答練解説講義10 11：答練解説講義11 12：答練解説講義12 13：答練解説講義13 14：答練解説講義14 15：答練解説講義15	16：答練解説講義16 17：答練解説講義17 18：答練解説講義18 19：答練解説講義19 20：答練解説講義20 21：答練解説講義21 22：答練解説講義22 23：答練解説講義23 24：答練解説講義24 25：答練解説講義25 26：答練解説講義26 27：答練解説講義27 28：答練解説講義28 29：答練解説講義29 30：答練解説講義30

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校					学科名：2年制公務員科
授業科目	教養総合講義	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	福沢謙太郎 長谷川正彦　他
授業回数	75	単位時間数	150	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得を目指し、講義を行う。				
到達目標	就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得すること。				

授業内容	回	回
	31：答練解説講義31 32：答練解説講義32 33：答練解説講義33 34：答練解説講義34 35：答練解説講義35 36：答練解説講義36 37：答練解説講義37 38：答練解説講義38 39：答練解説講義39 40：答練解説講義40 41：答練解説講義41 42：答練解説講義42 43：答練解説講義43 44：答練解説講義44 45：答練解説講義45	46：答練解説講義46 47：答練解説講義47 48：答練解説講義48 49：答練解説講義49 50：答練解説講義50 51：答練解説講義51 52：答練解説講義52 53：答練解説講義53 54：答練解説講義54 55：答練解説講義55 56：答練解説講義56 57：答練解説講義57 58：答練解説講義58 59：答練解説講義59 60：答練解説講義60

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校					学科名：2年制公務員科
授業科目	教養総合講義	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	前期	担　当	福沢謙太郎 長谷川正彦　他
授業回数	75	単位時間数	150	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得を目的とする。 知能科目及び知識科目について、習熟度を把握する。 【概要】 就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得を目指し、講義を行う。				
到達目標	就職活動及び就職後、社会生活で求められる一般知能、一般知識の習得すること。				

授業内容	回	回
	61：答練解説講義61 62：答練解説講義62 63：答練解説講義63 64：答練解説講義64 65：答練解説講義65 66：答練解説講義66 67：答練解説講義67 68：答練解説講義68 69：答練解説講義69 70：答練解説講義70 71：答練解説講義71 72：答練解説講義72 73：答練解説講義73 74：答練解説講義74 75：答練解説講義75	76： 77： 78： 79： 80： 81： 82： 83： 84： 85： 86： 87： 88： 89： 90：

テキスト 参考文献	各種模擬試験（大原出版株式会社）　例：直前模擬試験（公務員総合、一般職）、公務員模擬試験初級、実力判定試験一般職、公開模擬試験一般職　等
成績基準	取組姿勢や基準とする模擬試験の得点率により総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の 内　容	次回の授業までに問題集を使い、学習範囲内の問題を解いて理解しておくこと。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	ビジネス実習Ⅱ	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	藤内亮平 岡田圭介　他
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ビジネス社会における理想的な就労のあり方を学ぶ。また職場において求められる実務能力、とりわけ理想的なマナー、振る舞い、接遇技術、電話応対技術を実習し、習得することで職業倫理観を身につける。 【概要】 企業、官公庁での勤務を想定し、理想的な姿勢を学ぶ。具体的には、職場での言葉遣い、マナー、振る舞い、接遇技術、電話応対技術をロールプレイングの手法により習得する。 就労に関する実例を題材として、理想的な就労形態が何かを把握する。今後の社会の変化、グローバル化に対応できる人材像を理解し、目指していく姿勢を身につける。				

到達目標	
	現実社会での就労問題を知り、正社員として理想的な就労意識、姿勢を理解する。 ビジネス社会における理想的なマナー、振舞、接遇技術、電話応対技術を理解し、実践できる。

授業内容	回	回
	01：PCP・職場のマナー①	16：PCP・応対の基本④
	02：PCP・職場のマナー②	17：PCP・電話応対のマナー①
	03：PCP・仕事の進め方①	18：PCP・電話応対のマナー②
	04：PCP・仕事の進め方②	19：PCP・電話の受け方
	05：PCP・「ほうれんそう」①	20：PCP・電話のかけ方
	06：PCP・「ほうれんそう」②	21：PCP・状況別電話応対①
	07：PCP・挨拶の種類①	22：PCP・状況別電話応対②
	08：PCP・挨拶の種類②	23：PCP・状況別電話応対③
	09：PCP・笑顔・お辞儀	24：PCP・状況別電話応対④
	10：PCP・正しい敬語①	25：PCP・電話応対練習①
	11：PCP・正しい敬語②	26：PCP・電話応対練習②
	12：PCP・正しい敬語③	27：PCP・電話応対練習③
	13：PCP・応対の基本①	28：PCP・電話応対練習④
	14：PCP・応対の基本②	29：PCP・電話応対練習⑤
	15：PCP・応対の基本③	30：PCP・電話応対練習⑥

テキスト 参考文献	ビジネスマナー（大原出版） 事例研究については、担当者により指示をする。
成績基準	取組姿勢やレポート、効果測定の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	官公庁への就職を目指す者として、就労問題に関心を持つこと。新聞や書籍で理解を深めること。就労先で求められるビジネスマナー、スキルの習得に向けて意識を高め、実践を重ねること。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	ビジネス実習Ⅱ	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	村松武 増谷麻由　他
授業回数	45	単位時間数	90	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ビジネス社会における理想的な就労のあり方を学ぶ。また職場において求められる実務能力、とりわけ理想的なマナー、振る舞い、接遇技術、電話応対技術を実習し、習得することで職業倫理観を身につける。 【概要】 企業、官公庁での勤務を想定し、理想的な姿勢を学ぶ。具体的には、職場での言葉遣い、マナー、振る舞い、接遇技術、電話応対技術をロールプレイングの手法により習得する。 就労に関する実例を題材として、理想的な就労形態が何かを把握する。今後の社会の変化、グローバル化に対応できる人材像を理解し、目指していく姿勢を身につける。				

到達目標	
	現実社会での就労問題を知り、正社員として理想的な就労意識、姿勢を理解する。 ビジネス社会における理想的なマナー、振舞、接遇技術、電話応対技術を理解し、実践できる。

授業内容	回	回
	31：PCP・電話応対練習⑦ 32：PCP・電話応対練習⑧ 33：PCP・電話応対実技（基本）① 34：PCP・電話応対実技（基本）② 35：PCP・電話応対実技（実践） 36：就労事例研究・事例研究① 37：就労事例研究・課題作成① 38：就労事例研究・事例研究② 39：就労事例研究・課題作成② 40：就労事例研究・事例研究③ 41：就労事例研究・課題作成③ 42：就労事例研究・事例研究④ 43：就労事例研究・課題作成④ 44：就労事例研究・事例研究⑤ 45：就労事例研究・課題作成⑤	46： 47： 48： 49： 50： 51： 52： 53： 54： 55： 56： 57： 58： 59： 60：

テキスト 参考文献	ビジネスマナー（大原出版） 事例研究については、担当者により指示をする。
成績基準	取組姿勢やレポート、効果測定の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。
準備学習の内　容	官公庁への就職を目指す者として、就労問題に関心を持つこと。新聞や書籍で理解を深めること。就労先で求められるビジネスマナー、スキルの習得に向けて意識を高め、実践を重ねること。

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	ビジネス実習Ⅲ	授業形態	実習	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	長谷川正彦 福沢謙太郎　他
授業回数	30	単位時間数	60	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 ビジネス社会で求められる自己表現、プレゼンテーション技法を身につける。就職活動および就職後に、相手の考えを正しく理解するとともに、自らの意見を適切かつ効果的に伝えられることを目的とする。 【概要】 職業（業種・職種）研究を行う。対面による自己表現方法の習得を、個別・集団の各方法により実践修得する。グループによる討論、グループワーク等の手法を用いることもある。				

到達目標	ビジネス社会で求められる自己表現、プレゼンテーション技法を身につける。就職活動および就職後に、相手の考えを正しく理解するとともに、自らの意見を適切かつ効果的に伝えられることを目的とする。	
授業内容	回 01：自己PR① 02：自己PR② 03：自己PR③ 04：自己PR④ 05：自己PR⑤ 06：志望動機① 07：志望動機② 08：志望動機③ 09：志望動機④ 10：志望動機⑤ 11：希望業務① 12：希望業務② 13：希望業務③ 14：希望業務④ 15：希望業務⑤	回 16：グループ討論① 17：グループ討論② 18：グループ討論③ 19：グループ討論④ 20：グループ討論⑤ 21：面接練習① 22：面接練習② 23：面接練習③ 24：面接練習④ 25：面接練習⑤ 26：面接練習⑥ 27：面接練習⑦ 28：面接練習⑧ 29：面接練習⑨ 30：面接練習⑩
テキスト 参考文献	就職ガイドブック・就職ノートブック（大原出版株式会社）	
成績基準	課題への取組姿勢や就職活動の結果等を基に総合的に点数化し、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回授業までに指導を受けた内容を改善すること。職業研究については、自発的に対象を見つけて日頃より研究を行うこと。自己表現に自信を持つため、他者との交流機会を増やしていくこと。	

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	民法	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	長谷川正彦 村松武　他
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 民法の基礎を学習することにより、法的思考力を身に着ける。 【概要】 民法の全体像を把握するとともに、民法総則全般と財産法、家族法の主要な内容を理解する。				
到達目標	民法の趣旨、基本条文を解釈できる。 日々の生活がどのように法律により規定されているかを理解できる。				
授業内容	回 01：民法とは（公法と私法の違い、私法の一般邦としての位置づけ） 02：総則（権利能力・意思能力・制限行為能力者）① 03：総則（権利能力・意思能力・制限行為能力者）② 04：総則（意思表示） 05：総則（代理）① 06：総則（代理）② 07：総則（時効） 08：親族（婚姻・離婚）① 09：親族（婚姻・離婚）② 10：親族（親子・養子）① 11：親族（親子・養子）② 12：相続・遺贈① 13：相続・遺贈②	回 14：相続・遺贈③ 15：相続・遺贈④			
テキスト 参考文献	大原出版　宅建士民法テキスト 行政書士民法テキスト				
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。				
準備学習の内　容	次回授業までに学習内容を復習し、理解を深めること。				

2026年度　　Syllabus

大原法律公務員専門学校浜松校				学科名：2年制公務員科	
授業科目	刑法	授業形態	講義	区　分	必修
年　　次	2	時　　期	後期	担　当	村松武 長谷川正彦　他
授業回数	15	単位時間数	30	実務家	
授業目的 概　　要	【目的】 刑法の全体像を把握するとともに、刑法総論全般と各論の主要な内容を理解する。 【概要】 刑法の全体像を把握するとともに、刑法総論全般と各論の主要な内容を学習する。 まず刑法学における基本理論を正確に把握する。犯罪の成立要件、刑罰論を学び、法律要件・法律効果の関係を知る。刑法総論の基本論点、刑法各論の主要部分を学習する。				

到達目標	刑法の全体像を把握する。刑法概念、罪刑法定主義、刑法の適用範囲、犯罪の成立要件を正確に理解する。総論の基本論点、各論の主要論点を理解する。刑法以外の法適用時に、応用する力を身につける。	
授業内容	回 01：法学概論① 02：法学概論② 03：刑法と基本的人権① 04：刑法と基本的人権② 05：刑法と統治機構① 06：刑法と統治機構② 07：刑法の概念 08：罪刑法定主義・刑法の適用範囲 09：犯罪の成立要件① 10：犯罪の成立要件② 11：犯罪の成立要件③ 12：未遂犯 13：共犯・刑罰 14：刑法各論① 15：刑法各論②・まとめ	回
テキスト 参考文献	『刑法の基礎』（大原法律公務員専門学校浜松校）	
成績基準	取組姿勢や定期試験の結果に基づき総合評価を行い、80 点以上を優、70 点以上を良、60 点以上を可、59 点以下を不可とする。	
準備学習の 内　容	次回授業までに学習内容を復習し、理解を深めること。	